

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年4月30日(2021.4.30)

【公開番号】特開2019-170957(P2019-170957A)

【公開日】令和1年10月10日(2019.10.10)

【年通号数】公開・登録公報2019-041

【出願番号】特願2018-66129(P2018-66129)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和3年3月18日(2021.3.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数種類の画像を表示可能な表示手段と、

透過性を有する役物と、を備えた遊技機であって、

前記表示手段は、複数の第1の装飾図柄によって、当否を報知可能であり、

前記表示手段は、前記複数の第1の装飾図柄とは異なる複数の第2の装飾図柄によって

、当否を報知可能であり、

前記複数の第1の装飾図柄が1変動する間、前記表示手段において、前記複数の第1の装飾図柄の一部が前記役物を介して継続して視認可能となり、前記複数の第1の装飾図柄の他の一部が前記役物を介さずに継続して視認可能となり、

前記表示手段のうち、前方に前記役物が位置していない部分に前記複数の第2の装飾図柄の全体が表示される、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

[適用例1]

複数種類の画像を表示可能な表示手段と、

透過性を有する役物と、を備えた遊技機であって、

前記表示手段は、複数の第1の装飾図柄によって、当否を報知可能であり、

前記表示手段は、前記複数の第1の装飾図柄とは異なる複数の第2の装飾図柄によって、当否を報知可能であり、

前記複数の第1の装飾図柄が1変動する間、前記表示手段において、前記複数の第1の装飾図柄の一部が前記役物を介して継続して視認可能となり、前記複数の第1の装飾図柄の他の一部が前記役物を介さずに継続して視認可能となり、

前記表示手段のうち、前方に前記役物が位置していない部分に前記複数の第2の装飾図柄の全体が表示される、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】